

●授業の様子

暑中見舞いを書く授業をしました。テキストを使って、暑中見舞いや二十四節気などについて触れ、あて名や本文を書く練習をしました。

また、メールとはがき(手紙)の違いについて質問すると、はがき(手紙)は「手書きの文字でその人の感情がわかる」「文字を見てその人が思い浮かぶ」などの意見が発表されていました。

●先生の感想

キャリア教育の一環としても手紙を書けることは大切。大学の入試問題でも手紙の書き方があることがあるので、将来のためにもよい機会となりました。

●授業の様子

暑中見舞いを書く授業を実施しました。最初に「手紙の書き方」Webサイトの動画「おたよりが届くまで」を見て郵便の流れを学び、テキストを使ってメールとはがき(手紙)の長所短所を考え発表しました。「メールは字の形で気持ちが伝えられない」「はがきはお金がかかる」など様々な意見が出ました。

はがきの表面と裏面を練習し、書けたものを手本にかもめ〜るへ清書するところまで取り組みました。

●先生の感想

「授業実施前調査」をしたところ、かもめ〜る(暑中見舞い)を知っているという生徒は1~2人しかいないことに驚きました。社会の常識として手紙の書き方を学べるよい機会になりました。

